

令和2年11月13日

## 香川大学医学部学生が細胞内の新規構造体を発見！

医学部医学科6年生朴世薫さんが、2年生のころから講義や実習の合間をぬって、組織細胞生物学研究室（荒木伸一教授）で自主的に研究を行い、生きた細胞内で GFP 蛍光タンパク質を融合させた分子の挙動をレーザー顕微鏡でみるライブセルイメージング技術により DENND1B という分子が線状集合体の形をとる新たな細胞内構造を発見しました。この構造は、これまで全く報告されていない未知の構造ですが、接着性培養細胞の基底側、特にラメリポディア（偽足）の基部に見られることから、細胞の接着や移動に関わる構造であると推測されました。今後、さらにこの構造の機能や分子機構を明らかにすることにより、がん細胞の浸潤メカニズムの解明にも貢献すると期待されます。

この研究成果は、朴さんが筆頭著者となる論文として、ドイツ組織化学会誌 *Histochemistry and Cell Biology* (Springer Nature 発行)オンライン版に11月3日付けで公開されました。

学部学生が、在学中に国際的な学術専門誌に筆頭著者で論文を発表できるのは、非常にまれなことです。

### 発表論文

A novel DENND1B-localized structure found at the basal side of adherent cells

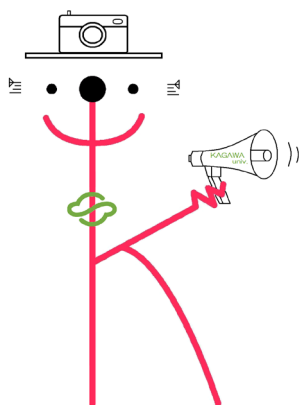
Eugene Won Park, Katsuhisa Kawai, Youhei Egami, Nobukazu Araki

*Histochemistry and Cell Biology* doi.org/10.1007/s00418-020-01935-0

### リンク

<https://rdcu.be/b9Dfj>

<http://link.springer.com/article/10.1007/s00418-020-01935-0>



### ➤ 問い合わせ先

香川大学医学部 組織細胞生物学・荒木 伸一

TEL : 087-891-2089 FAX : 087-891-2092

E-mail : naraki@med.kagawa-u.ac.jp

### ※上記不在の場合

香川大学 医学部 総務課 広報法規・国際係

立石 晃一（8時30分～17時15分）

TEL : 087-891-2008